

郡上市いのち支え合い推進事業【岐阜県郡上市】

= 「こころ」と「いのち」みんなで支え合う郡上 =

(実施期間) 平成21年度～

(基金事業メニュー) 対面型相談事業、人材育成事業
普及啓発事業、強化モデル事業

(実施経費) 3,641千円(平成24年度)

(実施主体) 岐阜県郡上市

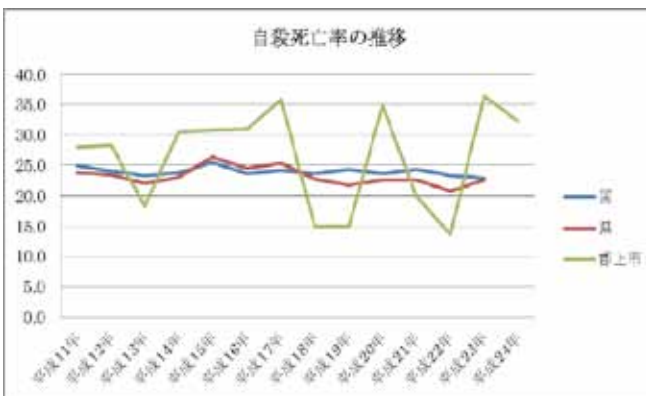
(うち基金は668千円)

【事業の背景・必要性・目的】

郡上市は、平成11年以降毎年10人から16人の自殺者があり、平成11年から平成20年までの10年間では、壮年期男性や高齢者女性の自殺の増加があった。自殺死亡率では国や県を上回る年が7回あり、地域特性にあった自殺対策に取り組んでいくことが課題となっている。郡上市では、関係機関と連携し社会的要因への対応やこころの健康問題について総合的に取組み、心の健康や自殺予防に関する普及啓発や相談事業の充実、自死遺族支援等事業で自殺対策を進める。

【地域の特徴・自殺者数の動向】

自殺死亡率の推移

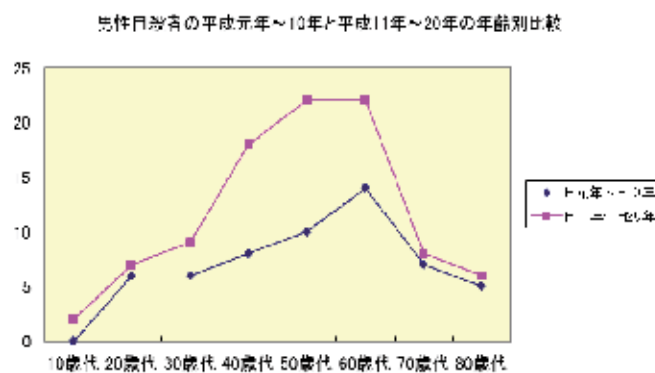


年齢別人口

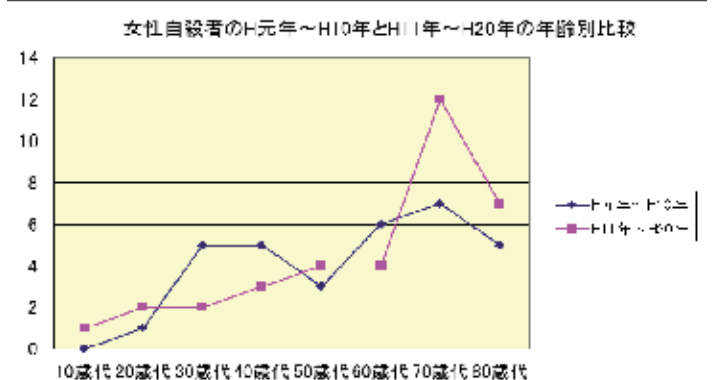
(平成25年3月1日現在)

総人口	年齢3区分別人口		
	年少(0～14歳)	生産(15～64歳)	老年(65歳以上)
45,136	5,541	25,443	14,152

郡上市の男女別年代別自殺者の状況(男性)



(女性)



出典(人口動態統計)

【事業目標 事業内容】

事業目標：平成27年度に郡上市健康福祉推進計画アンケート調査を実施し、自殺予防に対する行動を評価する。評価指標は、「うつ病やその対応の理解」や「相談窓口の認知度」とし、平成22年度に実施した郡上市健康福祉推進計画アンケート調査の実績を基準値とし、10%増加または減少とする。

事業内容：ネットワーク（以下の通り）、一次予防（心の健康を考える市民講座6回、街頭キャンペーン2回、ケーブルテレビ放映、広報での特集、高校生、事業主、労働者、一般それぞれの相談窓口一覧表作成、うつ予防ポケットティッシュ作成）、二次予防（民生委員児童委員研修会7回、ゲートキーパー研修会1回、臨床心理士による相談、岐阜いのちの電話フリーダイヤル設置、特定健診でのうつチェックと相談の充実）、三次予防（家族の集い、相談）その他（郡上市いのち支え合い（自殺対策）行動計画作成）

【事業実施にあたっての運営体制】

平成22年度に設置した「郡上市いのち支え合い推進協議会」の委員会を構成する各機関、団体が中心となって、各々の役割を果たすとともに、相互に緊密な連携、協力を図りながら、各種施策を総合的かつ効果的に推進している。

○平成24年度：郡上市いのち支え合い推進協議会、実務者会議、担当者会議（毎月）、庁内課長会

【事業の工夫点】

自殺予防を4つの柱、「1の柱 関係機関とのネットワーク強化、2の柱 一次予防、3の柱 二次予防、4の柱 三次予防」、から総合的に取り組んでいる。特に郡上市いのち支え合い推進協議会を中心に、関係機関と地域ネットワークを図りながら事業を展開している。

【事業成果、その他特筆すべき点】

① 心の健康づくりの推進

心の健康づくりや自殺予防の普及啓発として「心の健康を考える市民講座」を各地域で実施したところ、「ストレス研究会」や「笑いヨガサークル」等が生まれ活動を始めた。このことによって、心の健康づくりの基盤ができたと考える。

② 相談事業の充実

臨床心理士による定期相談や岐阜いのちの電話へのフリーダイヤルにより、専門的な相談が受けやすくなった。相談者も増えており、心の悩みを抱える人にとっての支援が図られてきた。

③ 担当者会議でのケース検討

平成24年度より、担当者会議で自殺者のケース検討を実施し自殺にいたる背景から自殺予防対策を検討している。高齢者の自殺が多い中、高齢者の特徴について検討できた。

（問合せ先） 岐阜県郡上市役所健康福祉部健康課
TEL:0575-67-1834
E-mail:kenkou@city.gujo.gifu.jp